

魚津の教育

魚津市教育センターだより165号
令和3年7月 発行
魚津市教育センター
魚津市村木町1-21
〒937-0053 TEL(0765)23-9161

「いい出会い、いい発見は、いい人生をつくる」

魚津市教育委員会 教育長 山瀬 敬

《20代》

子供の言葉に、はっとすることがあります。普段は自分にも子供の時期があったことは意識していませんが、あるとき、すっかり忘れていた純粋な少年の心を思い出すことがあります。もって廻った、もっともらしい大人の理屈よりも、あどけない子供の直感があたっている場合が少なくありません。よく子供の顔を見て、話を聞いてやってください。

子供たちにとっては私の方がだいぶ年上だから「先生」にはちがいないが、本当は子供たちが「先生」だった気がします。

《30代・40代》

教員として最も危機の年代で、自分自身の生徒の、心の荒れに悩む毎日でした。そんなとき、夏休みに訪れたのが、はるか地平線までひまわり畑が広がる、北海道の北竜町。私の心の中では、ひまわりは光をいっぱいあびて伸びる、まさに太陽の申し子のような存在でした。しかし、すぐ近くまで行って見たひまわりは、全く違っていました。南だけに向いているのではない、いろんな方向を向いている。背の高いものもあれば、低いものもある。太い茎もあれば、今にも折れそうな細い茎もある。それらが、みんなで支え合っている。一本一本が違うのです。今でも強く脳裏に焼き付いている光景です。

富山県教育のベストセラー「指導の重点」にある『一人一人を見つめ育てる』の意味を、体験的に感覚的に実感した瞬間でした。

《50代》

一日一日、毎日の繰り返しの中で、その意味を考えなくなり、本質、大事なものが見えなくなっていくことがあります。

私の前職は、教職員の保養所ホテル溪仙の支配人です。営業を始めてから40年が過ぎ、老朽化が著しく、突然、客室の天井からの大量の雨漏り、湯船の温度が調整できず「熱くて入れない」のお叱り、ただただ平謝りと緊急対応。全職員は緊張感の連続でした。

それでも、お客様は「レトロでいいよ」と言ってくださいました。その言葉に甘えていいのか。今、何をなすべきなのか。職員と相談して決めたのが、「徹底して小綺麗に！清潔に！」でした。掃除は誰にでもできる、簡単で地味な仕事……本当にそうでしょうか。何のために働くのか。小綺麗にすることは、お客様へのサービスであると同時に自分たちの気持ちを引き締めることとなります。何より、お客様にゆっくりしていただくには、気持ちのよい環境が何よりの前提条件だと考えました。ただ、これも義務的にやるだけでは上達しませんし、意識の高さが一番求められます。これが、本当に難しい！！

これは、多くの仕事で共通することではないかと感じています。

《教職員の皆さんへ》

毎日、子供たちにかかわる皆さんには感謝し、大きな期待をしています。

どうか、皆さんご自身の健康に留意するとともに、広い視野をもち、教員としての使命感のもと、子供たちに愛情をたっぷり注ぐ教師を目指して欲しいと願っています。

私も、皆さんに負けないよう、学校が教職員と子供たちにとってよりよい教育環境となるよう努めていきます。

◇一部に、過去に様々な会報、機関誌等で掲載していただいた文章の引用があります。ご了解ください。



「安心して過ごせる学校・学級」 よつば小学校 十松 奈未

よつば小学校に配属されてから、約3か月が経ちました。4月当初、初めてのことや慣れないことだらけで緊張や不安を抱えていました。

ですが、よつば小学校の先生方は、分からないことや困ったことの相談に親身になって乗ってくださったり、「もっとこうした方がよくなるのでは」と助言をしてくださったりと、右も左も分からない私に、とても優しくしてくださいます。大学の授業で学んできた、「教職員はチーム。

チームワークが大切である」という言葉が身に沁みて感じられます。子供たちとも元気に挨拶をしたり、一緒に話をしたりして明るく毎日を過ごしています。こうした周りの先生方や子供たちに支えられながら、学校生活にも少しずつ慣れてきたように思います。

私は、「子供たち一人一人が学校で安心して過ごすことができる学級」をつくることを目標に教師になりました。一人一人が、互いを学級にとって必要な存在であると感じられるよう、教師である私から、やさしさの輪を広げ、温かな学級となるよう学級づくりをしていきたいです。また、子供たち一人一人に寄り添うことはもちろんのこと、保護者の方ともよい関係を築き、共に子供たちの成長を見守っていきたいと考えています。

学習指導、生徒指導等、まだまだ至らないところばかりですが、これからも周りの先生方に教えていただいたり、学んだりしたことを実践に生かし、子供たちと共に、日々成長していきたいと思っています。



「教師になって」 よつば小学校 真野 義晴

「教師になる」という思いをもち続けながら様々な職業を経て、今年度新規採用教員として、よつば小学校に勤務することになりました。これまで支えてくれた家族、友人、先生方、そして子供たちに感謝しています。

私は小・中学校で講師として勤務していたときに、「教師になりたい」という思いがますます強くなりました。それは、子供たちのために頑張っておられる先生方が、とても眩しく輝いて見えたからです。そんな先生方のことが、子供たちは大好きです。先生方の声かけ等によって、何事にも意欲的に頑張る子供たちの姿には感動を覚えました。私は、そんな先生方と子供たちに「真野先生は教師に向いている、頑張れば必ず試験に受かって」と応援されました。頑張らないわけにはいきません。「期待されている」ということは、こんなにも嬉しいものなのかと実感しました。

今、4年生の学級担任をしています。周りが見えず、戸惑うことばかりの毎日です。ですが、先生方に教えられ、助けられながらも、全力で勤務しています。先生方と一緒に子供たちのために働くことができる、「教師」であることに、喜びをかみしめています。校長先生の「やりきる」という方針をしっかりと受け止め、「チームよつば」の一員として、子供たちに寄り添い、共に成長していく教師になっていきたいと思っています。



「子供たちとともに」

道下小学校 川原 未冬

今年度4月に新規採用され、道下小学校で2学年の学級担任をしています。

この怒涛の2か月間、失敗続きの毎日でしたが、少しずつ学校にも慣れ、子供たちの笑顔に癒されながら過ごしています。私は、日々、子供たちの成長を間近で感じながら、共に成長できることに喜びを感じています。子供たちの笑顔を見ていると、「教員を選んで正解だった」と実感しています。



授業中での学級経営を核に、「助け合う学級」を目指しています。授業だけに留まらず、普段の生活の中にも助け合う雰囲気学級全体に現れるよう、目の前の子供たちを信じ、期待しながら、毎日取り組んでいます。

「どう反応してくれるかな？」と子供たちのことを考えながら教材研究をする時間は、毎日の楽しみとなっています。また、個別最適化が叫ばれているこの時代において、一人一人に合う公平な教育ができるよう、常に勉強し続ける教員でありたいと思っています。研修に参加したり、本を読んだりしながら、最新の情報を実践に取り入れていきます。

「学校が楽しい」「明日も学校に行きたい」と子供たちが心から思えるように、丁寧なかかわりを心がけていきたいです。そして、自分自身も毎日が楽しくて仕方ないと思える教師、子供たちを受容できるあたたかい教師を目指していきます。そのために、同校の優しく気にかけて親身になってくださる先輩方や、現状を把握し適切な助言をくださる初任者指導の先生からの、ご指導を生かしながら成長していきたいです。

「日々成長」

東部中学校 萩中 春乃

東部中学校に着任してあっという間に3か月が経ちました。1学年の担任をしており、授業は1学年の英語をティームティーチングで担当しています。部活動は、副顧問としてバスケットボール部を担当しています。4月当初は、初めてのことばかりで、緊張いっぱいの毎日でした。何をすべきか分からず、不安と緊張でいっぱいでした。先が読めない不安に押しつぶされそうになっていました。ですが、素直で、熱心に学習に取り組む子供たちと場面に応じて適切な助言をくださる先生方に支えられて、今は充実した毎日を過ごしています。登校前は、「今日の授業は大丈夫かな…。」「今日、一日無事で過ごせるかな…」と不安と緊張でいっぱいになることもありますが、教室で子供たちが笑顔で「おはようございます！」と元気に挨拶する姿を見て、「今日も頑張ろう！」と元気がでます。



私は、中学時代、様々な方法で「分かる」「楽しい」英語の授業をしてくださった先生に感銘を受けました。自分と同じように「英語って楽しい！」と一人でも多くの生徒に感じてもらいたいと思い、私は英語教師を目指しました。海外留学し、いろいろな国の人と交流することで、その国の文化や生活も知ることができ、ますます英語が好きになりました。授業中、ゲーム形式のペア学習で楽しそうに会話している様子を見たり、「先生、わかったよ。」と目を輝かせて発言したりする子供たちの姿を見ると、「教師になって本当に良かった！」と感じています。これからも「分かる」喜びを知り、楽しく学びあえるような授業ができるよう全力を尽くしたいです。

まだまだ至らないところだらけですが、今後も先生方に教えていただき、うまくいかないことがあっても、反省と改善を繰り返して、教師として成長していきたいです。

■わが校の取組

〈新型コロナウイルスに負けるな！～コロナ禍における体育大会の取組から～〉

魚津市立東部中学校

新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりの影響で、令和2年3月2日(月)から突然の一斉臨時休業の措置がとられることとなりました。年度末を控えた大切な学年末考査や送る会、卒業証書授与式等の行事や高校受験はどうなるのか、生徒や保護者のみならず、我々教職員誰もが経験したことがない不安と戸惑いがありました。

そして、新年度がスタートしたかと思った矢先、4月13日(月)から延長も含め5月31日(日)まで再度臨時休業となりました。その間、分散登校を行ったり、オンライン学習を進めたり、課題プリントや担任からのメッセージをHPで伝えたりするなど、学びを止めない工夫を試行錯誤しながら行ってきました。また、6月1日(月)から学校が再開したものの、学校行事や様々な取組がこれまで通りの方法ややり方では実施できない状況にありました。しかし、教職員の思いは、「中止」ではなく、生徒たちに何とか成就感や達成感を味わわせるために「できる限りの感染対策を行い、工夫して実施する」という熱い思いに溢れていました。その取組の一端を紹介します。

【体育大会における感染対策の工夫】

①団席の工夫

これまで団席にはテントは設置していませんでした。しかし、今年は、生徒と生徒の席が密にならない、熱中症にならないようにと、生徒用のテントを設置することにしました。そのため生徒用にテント15張が必要となり、同窓会で急遽6張購入していただき、設置することができました。



②応援合戦の工夫

これまでの応援合戦は、グラウンドのスタンドを利用し、パネル等を使ったスタイルで行って来ました。しかし、密集での応援を避けるために、今年はアトラクションというスタイルに変え、団員

【これまでのスタイル】



【今年のスタイル】



全員がグラウンドいっぱいに広がってパフォーマンスを行いました。初めての取組でしたが、生徒会や団役員、そして団顧問が知恵と工夫を出し合って、新たなスタイルが誕生しました。

③競技の工夫



2学年の綱引きでは、生徒同士が密にならずに綱を引く工夫を行いました。綱を2本使って、同時に4方向から引くことができるように業務員にも知恵を出していただき、古タイヤを活用した道具を作成しました。これまでにない綱の動きや勝敗の決め方に新たな面白さが生み出されました。

【まとめ】

本校では、この他「合唱祭」や「送る会」、「卒業証書授与式」等においても、感染対策を万全にし、生徒たちの心に残る思い出となるように工夫した新たな形で実施しています。

「ピンチをチャンスに変える」、新たな東部中学校の伝統がスタートし始めました。

■第56回 魚津市小学校体育大会

魚津市小学校体育連盟

5月14日（金）に、市内5校の5・6年生597名が桃山運動公園陸上競技場に集い、魚津市小学校体育大会を行いました。昨年度は中止となったため、2年ぶりの開催となりました。今大会は、選手種目が4×100mリレーのみとなるなど、変更点もありましたが、一人一人が自己ベストの記録を目指して全力で競技に取り組みました。



◇ 大会の記録

100m走（6年男子）

1	松島 竜生（清流）	14.07
2	石崎 光流（清流）	14.38
3	荒井 悠希（清流）	14.66
4	下村 寛人（経田）	14.75
5	宮田 敬司（清流）	15.01
6	井手 悠太郎（清流）	15.06

100m走（6年女子）

1	谷島 二湖（道下）	14.56
2	中山 唯（清流）	14.69
3	辻口 真麻（よつば）	15.12
4	三橋 凜子（星の杜）	15.18
5	佐々田 柚依（道下）	15.21
6	奥本 夏鈴（道下）	15.49

100m走（5年男子）

1	窪田 晟洲（星の杜）	15.15
2	辻口 哲平（よつば）	15.26
3	中村 咲琉（清流）	15.59
4	水嶋 海世（よつば）	15.60
5	西尾 瑠輝空（経田）	15.72
6	竹田 蓮汰郎（道下）	15.74

100m走（5年女子）

1	高森 なつ（よつば）	15.18
2	加藤 埜乃果（よつば）	15.24
3	南 百佳（よつば）	16.07
4	北條 柚月（よつば）	16.20
5	川越 陽菜子（よつば）	16.40
6	大崎 萌愛（道下）	16.50

55mハードル走（6年男子）

1	井手 悠太郎（清流）	9.53
2	松島 竜生（清流）	9.57
3	宮田 敬司（清流）	9.90
4	寺林 四季人（星の杜）	9.93
4	氏家 銀志（道下）	9.93
6	下村 寛人（経田）	10.02

55mハードル走（6年女子）

1	谷島 二湖（道下）	9.98
2	佐々田 柚依（道下）	10.06
3	片口 瑞紀（道下）	10.30
4	辻口 真麻（よつば）	10.38
4	瀨岡 麻理咲（清流）	10.51
6	金澤 蓮香（星の杜）	10.55

50mハードル走（5年男子）

1	西尾 瑠輝空（経田）	9.56
2	籠瀬 光芽（道下）	9.67
3	窪田 晟洲（星の杜）	9.71
4	竹田 蓮汰郎（道下）	9.78
5	中村 咲琉（清流）	9.88
6	辻口 哲平（よつば）	9.98
6	向中野 芳成（星の杜）	9.98

50mハードル走（5年女子）

1	南 百佳（よつば）	10.29
2	加藤 埜乃果（よつば）	10.30
2	西尾 実音（清流）	10.31
4	川越 陽菜子（よつば）	10.37
5	矢木 小雪（道下）	10.45
6	関口 彩華（清流）	10.47

4×100mリレー（男子）

1	清流	57.53
2	星の杜	58.55
3	経田	59.59
4	道下	60.72
5	よつば	62.54

4×100mリレー（女子）

1	道下	58.43
2	清流	58.54
3	よつば	58.63
4	星の杜	59.34
5	経田	63.48

令和3年度 新川地区中学校総合選手権大会

6月12日(土)・13日(日)に、新川地区中学校総合選手権大会が行われました。この大会は、8月上旬に富山県内各地で開催される、北信越中学校総合競技大会や、8月下旬に関東ブロックで開催される全国中学校体育大会の1次予選となる大会です。魚津市内の中学生は、「県選」「北信越」「全中」を目指して、もてる力を発揮しようと頑張っていました。



◇ 大会の記録 (1～3位まで) ※標準記録突破は標準

陸上競技

女子総合	3位	西部
2年女子100m	1位	本田 緋七鶴(東部) 13秒69
3年女子100m	1位	濱元 咲帆(西部) 12秒97
共通女子200m	1位	濱元 咲帆(西部) 26秒75
共通女子走幅跳	1位	四十崎 藍(東部) 4m59
共通女子走高跳	3位	山本なるみ(西部) 1m25
共通女子1500m	3位	田中歌音(西部) 5分11秒16
3年男子100m	2位	高野 煌大(東部) 11秒96
共通男子800m	3位	岩田桜佑(西部) 2分16秒89
1年男子1500m	3位	浦 優斗(東部) 5分01秒8
共通男子1500m	2位	高森はる(西部) 4分23秒88
共通男子3000m	3位	高森はる(西部) 9分57秒34
共通男子110mH	2位	高瀬 裕気(東部) 17秒10
共通男子走高跳	3位	高森 快吏(東部) 1m40
共通男子砲丸投	2位	籠瀬 柊音(東部) 9m36
共通男子 4×100mリレー	2位	東部 45秒94 (関口、中村、高瀬、高野)

以上県選出場



水泳

男子団体	1位	西部
男子50m自由形	1位	館 賜樹(東部) 25秒78 大会新標準
	3位	吉村 清人(西部) 27秒16標準
男子100m自由形	1位	館 賜樹(東部) 57秒29標準
	2位	吉村 清人(西部) 59秒40標準
男子100m平泳ぎ	3位	高橋 歩夢(西部) 1分33秒65
男子400m メドレーリレー	1位	西部 5分56秒36 (堀地、高橋、吉村、米島)
男子400mリレー	1位	西部 5分14秒75 (堀地、高橋、吉村、米島)
女子団体	1位	東部
女子50m自由形	2位	岩城 果暖(西部) 30秒01標準
女子100m自由形	1位	伊田 愛(東部) 1分00秒25標準
女子200m自由形	1位	伊田 愛(東部) 2分12秒65標準
	3位	貫和 樹(西部) 2分44秒56標準
	2位	遠藤美月(東部) 1分28秒16標準
女子100m平泳ぎ	3位	浅野遥名(東部) 1分28秒27標準
	1位	浅野遥名(東部) 3分14秒73標準
女子200m平泳ぎ	1位	西塔柚琶(東部) 1分12秒41標準
女子100m背泳ぎ	1位	西塔柚琶(東部) 2分37秒37標準
女子200m背泳ぎ	1位	伊原蘭奈(東部) 1分12秒16標準
女子100mバタフライ	1位	伊原蘭奈(東部) 2分34秒54標準
女子200m個人メドレー	1位	東部 4分56秒55標準 (伊田、遠藤、伊原、浅野)
女子400m メドレーリレー	1位	東部 4分30秒10標準 (伊田、遠藤、伊原、浅野)
	2位	西部 4分58秒25標準 (稗島、美谷、貫和、岩城)

女子400mリレー

以上県選出場

◇ 大会の記録（1～3位まで）※県選出場は県選

ソフトボール

1位 東部 県選
3位 西部

卓球

男子団体 1位 西部 県選
シングル 1位 尾崎 永和(西部) 県選
3位 濱田 佑杜(西部) 県選

バレーボール

男子 2位 西部 県選
3位 東部
女子 3位 西部 県選
3位 東部

バスケットボール

女子 3位 西部 県選

剣道

女子団体 3位 東部 県選
個人 3位 坪井 朝美(東部) 県選
男子個人 3位 八田 健太郎(東部) 県選

バドミントン

男子団体 3位 西部 県選
個人 3位 河村 奏太(西部) 県選

サッカー

3位 東部

柔道

男子55kg級 1位 獵場 政宗(東部) 県選

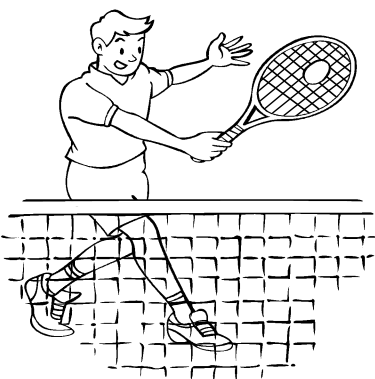
ソフトテニス

男子個人 3位 清水治郎・高島笙(西部) 県選
女子個人 3位 河村真緒・大澤優茉(西部) 県選



「新川地区大会を終えて」 東部中学校ソフトテニス部 部長 野村 璃一 りいち

昨秋の新人大会で県選抜大会に届かなかった悔しさから、部員全員で「夏こそは県選に出場する」という目標を決め、強い気持ちで練習に取り組んできました。サーブを中心に強さと正確さを磨き、成長を実感できるまでになってきました。練習してきたことがどれだけ身についたか確かめたい、練習試合で確かめたいと思いました。しかし、県内でコロナ感染者が増え始め、他校との練習試合ができなくなりました。モチベーションを保つのが難しく、だらだらすることもありましたが、部員同士声をかけ合いながら、練習に取り組みました。



迎えた大会当日。予選からの勢いは落ちることはなく、決勝リーグでも東部中学校の声は響きわたりました。準々決勝に進み、あとひとつ勝てば「県選出場」が決まります。セットポイントは1対1、最後のペアが、惜しくも負けてしまい、部員全員の目標である「県選出場」はできませんでした。とても悔しく、悲しかったです。県選の切符を手に入れることはできませんでしたが、仲間と目標に向かって挑戦した時間は、僕の大切な思い出となりました。

高校でもソフトテニスを続けていきたいです。

■魚津市教育センターからのお知らせ

魚津市教育センターには、学級経営、生徒指導のみならず、教育活動全般に対応できるたくさんの資料、教材、視聴覚機器があります。ルーティンワークに追われる日々だと思いますが、日頃の指導のヒントになるものがありますので、魚津市教育センターのホームページ (<http://www.uozu-c.tym.ed.jp>) で確認され、電話をするなり、立ち寄るなりして、日頃の教育活動にお役立てください。

■学習指導案

令和2年度までの魚津市・黒部市・入善町・朝日町の小中学校の学習指導案をセンターで閲覧ができます。また、ホームページから学習指導案の一覧をご覧になり、番号をお知らせいただければ、ご希望に応じて棚入れか、FAX等で送付します。(担当：岩城)

■教科書（魚津教科書センター）

小・中学校に加えて、高等学校の、検定済みの全ての教科書が閲覧できます。

■ICT機器等（貸し出します）

- ・プロジェクター
- ・PC～プロジェクター接続用ケーブル（5m・10m・20m）
- ・接続用HDMIケーブル（10m）
- ・移動スクリーン（80インチ、100インチ）
- ・実物投影機・書画カメラ・タブレット
- ・ブルーレイディスク レコーダー
- ・ブルーレイプレーヤー1台
- ・ホワイトボード（A3サイズ40枚）
- ・プログラミング教育教材30セット（6年理科 電気の利用プログラミングセット）

■特別活動・道徳 DVD教材『聲の形』



先日NHK総合テレビで放送されたされた、アニメ映画『聲の形』の舞台を小学校から中学校に変え、実写化して教材にしたもの。「いじめ」や「障害者との共生」などをテーマにした作品です。

生徒にとっては「いじめのメカニズム」を知り、「いじめに悩む人の気持ち」を想像し、「いじめを防ぐ方法や加害者に対してどんな行動がとれるか」など考えるのによいと思います。また、障害者等との「共生社会」が求められているなか、教室の中でどんな指導と支援が必要かを考える契機になると思います。(指導案付き)

■ソーシャルスキルトレーニング



SSTボードゲーム(低学年用)

「なかよしチャレンジ」

関係づくりが苦手な子供たちが、様々なトラブルにチャレンジすることを願っ

て開発されたゲーム。

すごろくのように順番にさいころを振り、駒を進め、字の書いてある青いマスに止まったらその指示に従い、絵の描いてあるマスに止まったらその絵のカードを引いて質問に答える形式で、ゲームを進めます。「考え」「気持ち」「行動」の3つのステップに沿って行うことにより、ソーシャルスキルが身につくようになっていきます。

小学生高学年～中学生用SSTボードゲームには、「フレンドシップアドベンチャー」があります。

■特別の教科 道徳



「特別の教科道徳の授業づくりチャレンジ」(中学年)

早川 裕隆 編著

日頃の実践をもとに、初心者でも簡単に取り組めるような内容が提案してあります。「学習指導案」と「板書例」が書かれているので、すぐに実践できます。

「体験的な学習『役割演技』でつくる道徳授業」

早川 裕隆 編著

「役割演技」をすることで「道徳的諸価値」について「実感を持って理解」できるような提案がされています。

■生徒指導 「その手抜きが荒れをまねく」

『「叱り方」の教科書』

吉田 順 著

長年「荒れる学校」「荒れる子供たち」を見聞体験してきた、生徒指導コンサルタントの筆者が、生徒指導の「考え方」の原理・原則や「叱り方」を示した本です。筆者は『「考え方」の原理・原則があれば、見通しがもて、粘り強く指導に取り組める。教師集団の団結には、原理・原則が不可欠である。』と言っています。

筆者は、夏休みの「生徒指導講演会」の講師なので、講演会の前後に読めば、より理解が深まると思います。

